オーナー家族が茶摘みを満喫

笑顔で新茶摘み取り

シャッターチャンス

はだの都市農業支援センターが実施する「お茶農園オーナー」の参加者が4日、菩提の高梨茶園で茶摘みを体験した。市内外から7組16人が参加した。

オーナーらは、園主の高梨孝さんから「一芯二葉」の摘み取り方を教わった後、作業を開始。家族や他のオーナーと会話を弾ませながら、3時間で「やぶきた」の茶葉約4㌔を摘み取った。その後、茶葉を蒸す作業なども体験した。

12月には今回収穫した茶を使い、手もみ茶作りにも挑戦する予定だ。

JAはだの

発行
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）

〒257-0015
秦野市平沢477
電話0463(81)7711㈹
発行責任者　宮永均

組合員の声で自己改革まい進

第56回通常総会　9議案が成立

JAはだのは20日、秦野市文化会館大ホールで第56回通常総会を開いた。今後のJA運営に関する最高意思決定の場であり、多くの組合員が出席。上程した9議案全てが可決された。

（2、3面に関連記事）

開会のあいさつをする山口組合長

開会のあいさつで山口政雄組合長は「JAはだのへの一層の結集と協力をお願いしたい」と、出席した組合員に力強く述べた。その後、これまで協同組合運動に尽力した組合員や団体に対し、表彰状や感謝状を贈った。

議案審議では、JAはだの「第五次中期経営計画（2019～21年度）」や19年度事業計画の設定についてなど、全9議案が成立し、会場は拍手に包まれた。

農業やJAを取り巻く環境では、政府が唱える「農協改革」の議論が節目を迎えようとしている中、これまでJAが取り組んできた自己改革の成果が求められている。まいた「TPP11（環太平洋パートナーシップに関する包括的および先進的な協定）」「日EU・EPA（経済連携協定）」の発効や日米の貿易協議など、日本の農業に多大な影響を及ぼす自由貿易協定の展開も懸念されている。

このような情勢の中、JAはだのは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、「JAはだの第五次中期経営計画」の実践に力を注いでいく。

多くの組合員が出席した通常総会

写真コンテスト作品募集

″農″の魅力を伝えよう

第15回JAはだの「″農″の魅力」写真コンテストを開催します。テーマは、「農業やJAの活動を通じた″ゆとり″″やすらぎ″″うるおい″を感じる魅力ある秦野の景観」です。皆さんのとっておきの1枚をお待ちしています。

応募期日は2019年10月18日（金）まで。入賞作品は「農業まつり」で表彰と展示を行います。詳しくは、組織教育課または各支所・支店までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

総会日現在の組合員数

正組合員	2908人
准組合員	11611人

総会に出席した組合員数

正組合員	1654人
内訳	
本人	648人
代理人	21人
書面議決	985人
准組合員	628人

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

今月の特集
4～5面
食と農の大切さ伝えたい

JAはだのと市内の農家は、地域の子どもたちに食や農の大切さを伝えようと、さまざまな活動に積極的に取り組み、農業に触れる場を提供している。

「かながわ旬菜ナビ」6月9日（日）午前10時放送のtvkで放送

6月9日（日）午前10時放送のtvk「かながわ旬菜ナビ」で、リポーターの伊藤綾香さんが、秦野産小麦をテーマに下記の農家や飲食店などを紹介します。

①秦野小麦出荷組合とTAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）②平塚市にある石臼製粉プラント「ミルパワージャパン」③今泉のパン屋「パンのくま小屋」④平沢のイタリア料理店「トラットリア フーコ」⑤じばさんず（放送の順序は未定）

販路広がりニーズ高まる

TACが売り込みに力

秦野産の小麦

秦野産小麦の販路が広がりを見せている。秦野小麦出荷組合が良質な小麦を生産し、TAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）は製粉業者やパン屋などに売り込む。協力する製粉業者の後押しもあり、2016年に10店舗だった取扱店舗は、現在60店舗以上に拡大している。

同組合は、市内で小麦を生産する農家が同年に設立した。農家はTACの指導を受けながら、パン屋などからニーズが高い品種を中心に栽培。設立当初から比較すると、品質と収量は大きく向上し、昨年度は生産量が3倍になり、JAが行う農産物検査では1等の割合が6倍に高まっている。

TACは、製粉業者と商談を進めたり、市内パン屋に秦野産小麦のサンプルを配って使用を呼び掛けたりするなど、積極的にPR活動を展開している。

その結果、新たな取扱店舗が続々と増加。横浜市中区元町に本店を構える大手ベーカリー「POMPADOUR（ポンパドウル）」では4月下旬から、神奈川県産フェアの一環で秦野産「ユメホウ」100％のバゲットを期間限定で販売（なくなり次第終了）。小麦の豊かな風味が楽しめる一品として、来店者から人気を集めている。

同出荷組合の小泉貴寛組合長は「TACが総合的にサポートしてくれてありがたい。秦野産のニーズが高まってきているので、他の農家にも出荷組合への加入を呼び掛け、生産をさらに盛り上げていきたい」と意気込む。

秦野産小麦とバゲットを手にする小泉組合長ら（左からTAC、同店スタッフ、小泉組合長）

「母の日」にカーネ

県内有数の産地　花持ち良く鮮やか

カーネーションの出荷作業を進める櫛田さん夫妻

県内有数のカーネーションの産地である秦野市で今月上旬、12日の「母の日」に向けて出荷が最盛期を迎えた。花き部会カーネーション部の部員らは、収穫作業や出荷などに連日汗を流した。

30年以上カーネーションを作り続けている同部部長の櫛田雅洋さんと妻の真弓さんは、約9㌃のハウスで、大輪で純白の「シベリア」など17品種を栽培。じばさんずや東京都内の市場などに、多い日には約2000本を出荷。同店には、「母の日」用にアレンジメントも出荷した。

櫛田部長は「秦野のカーネーションは色の鮮やかさや花持ちの良さに定評がある。毎年楽しみにしてくれている消費者のため、今後も期待に応えられるよう良いものを作っていきたい」と笑顔で話した。

40周年記念し植樹

経営士会が農業発展祈る

秦野市農業経営士会は4月23日、今年で同会が設立40周年を迎えたことを機に、本所で記念植樹を行った。同会の山口勇会長やJAの山口政雄組合長ら19人が参加した。

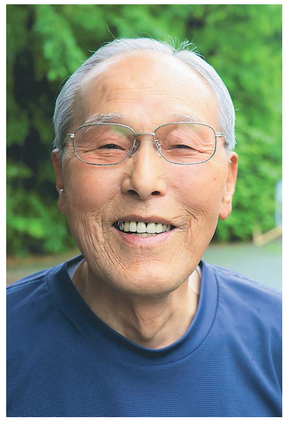
同会は「これからも秦野の農業が代々繁栄するように」という願いを込めて、ダイダイの苗木2本を用意。30周年を迎えた際に植えたコブシの隣に植樹した。

山口会長は「ダイダイは前年の実を付けたまま今年の実を付ける縁起の良い植物。秦野の農業を末永く代々つなげていくことができるように、今後も発展させていきたい」と笑顔を見せた。

記念植樹をした会員ら

接近！おじゃします　362

地域に貢献　趣味も充実



八沢の
小宮　茂平治（しげへいじ）さん（83）

農家の家庭で生まれ育った八沢の小宮茂平治さん。農業高校を卒業後、就農して葉タバコや落花生などを栽培していたが、親戚の紹介をきっかけに、34歳から神奈川県の職員として働き始めた。その後、県内各地でさまざまな業務に携わり、62歳で退職。現在は約60㌃の畑で落花生やソバ、ワラビなどの栽培に汗を流す他、趣味の登山などを楽しむ日々を過ごしている。

農業に励む一方で、地域のために積極的に活動。これまでに秦野市の自治会連合会の会長を務めた他、消防団員として43年にわたって活躍した。上小学校の食農教育にも協力し、児童とともにソバや大豆などを栽培した他、育てたケナフを使った紙作りを教えてきた。さらに、18年前には八沢の「老人いこいの家　かわじ荘」で実施しているミニデイサービス事業を立ち上げ、現在も運営委員として協力している。

農業や地域の活動などに励む小宮さんにとって、日々の楽しみになっているのが登山だ。これまでに日本各地の山々はもちろん、海外にも足を運び、ヒマラヤやモンブランなどの名山も登頂してきた。

今でも友人と定期的に登山に出掛け、6月には新潟県佐渡市の山に行く計画も立てている。

5年ほど前からは週3日ほど3㌔の散歩を続け、健康づくりに取り組んでいる小宮さん。「これからも健康で長生きしながら、登山を楽しんでいけたら」と笑顔を見せた。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに？？」

「6次産業化」をサポート

「6次産業化」って言葉を聞いたんだけど、どういうことなの？やえのちゃんは知ってる？

農林水産業の1次産業、製造業の2次産業、流通・販売の3次産を合わせて、1＋2＋3＝6で「6次産業化」と呼ぶ人がいるのよ。農業をしている人の所得をさらに増やすために、加工や販売にも積極的に取り組んでもらおうと、国がさまざまな支援をしているの。農産物に付加価値を付けたり、地産地消を進めたりする上でも重要なことなのよ。

JAはだのでも加工相談会などを開いて、生産者の「6次産業化」をサポートしているわ。

農産物の新しい魅力が見つけられそうだね！教えてくれてありがとう、やえのちゃん。

食と農の大切さ伝えたい

農業は子どもたち

JAはだのと市内の農家は、さまざまな活動を通じて地域の子どもたちに食や農の大切さを伝えている。農業体験学習に協力したり、食農教育イベントを開いたりするなど、農業に触れる場を提供。こうした取り組みは、子どもたちが地域に理解を深めるきっかけにもなっている。

児童に落花生のまき方を教える高橋さん

カリキュラム豊富　ちゃぐりんスクール開校

11日には、JAはだのが開く食農教育イベント「ちゃぐりんスクール」が、今年も開校した。イチゴ狩りや酪農体験など、地元農家らと連携して全5回の多彩なカリキュラムを用意。市内の小学3～6年生27人が参加する。

同スクールは1998年にスタートし、これまでに延べ900人以上が参加してきた。今年は市の特産である落花生の種まきや収穫などのカリキュラムを新たに取り入れ、農業や地域への理解がより深まるように内容を工夫した。

初回は、青年部の高橋勇太さんの指導で、立野台の畑で落花生の種まきを実施。児童は落花生の生育過程や栽培方法、品種の特徴などについて教わった後、マルチを敷いた畝に種をまいた。10月には、落花生を収穫して味わう予定だ。

園児がJA職員から野菜苗を購入

園児が「買う」体験　苗の供給と助成で協力

JAはだのは、つるまき成し、体験を後押ししている。

今年は10日に、5歳児クラスの57人が鶴巻支店の職員から1苗50円で購入し、苗と領収書を受け取った。園児は購入した苗をプランターに植え付け、水やりなどの世話をしていく。収穫した野菜は、給食で味わう他、家庭で調理して食べる予定だ。

園児にとって苗の購入から収穫までの一連の流れを体験することは、野菜を育てる大変さや収穫する喜びを知るきっかけになっている。苦手だった野菜を自分で育てることで食べられるようになり、好き嫌いがなくなった園児もいるという。

同園の込山真由美園長は「自分で購入した苗を育てることは、園児にとってはとても良い経験になる。JAが体験に協力してくれて、とてもありがたい」と笑顔で話した。

農家とJAがお手伝い　多彩な取り組み

市の特産を知って　カーネ温室を案内

千村でカーネーションを栽培する小野孝允さんは毎年、しぶさわこども園の園児の温室見学を受け入れている。20年ほど続けている取り組みで、園児に農業の大切さや市の特産であるカーネーションの魅力を伝えている。

今年は8日に、5歳児71人を受け入れた。カーネーションの種類や収穫方法などを説明しながら温室を案内。最後に、土産として色とりどりのカーネーションを1本ずつプレゼントした。園児からは「きれい」「お母さんにあげたい」などと笑顔があふれた。

同園の西尾孝子園長は「園児にとって、実際に見たり触れたりすることは良い経験になる。出荷で忙しい時期にも関わらず、園児のために協力してくれるのはとてもありがたい」と感謝を述べた。

卒園した子どもの中には、母の日用にカーネーションを買いに来たり、道で声を掛けてくれたりする子どももいるという。小野さんは「秦野の特産であるカーネーションに少しでも関心を持ってもらえたらうれしい。園児が喜んでくれる姿は自分の励みにもなって見せた。

カーネーションを収穫する園児と小野さん

苗や生産資材提供　学校農園を支援

JAはだのは、秦野市内の小・中学校が実施する農業体験学習を支援している。学校農園を開く各校に野菜苗や肥料などを注文し、夏野菜の苗や腐葉土などを毎年提供する。9日には支所・支店の職員が各校を訪問して野菜苗を配付。他、栽培から販売体験までのサポートも充実させている。

JAは1980年から市教育委員会を通じ、学校農園の実施を呼び掛けてきた。今年度は13校ある市内全小学校と中学校7校が開いている。

今年も、JAは事前に各校から野菜苗や肥料などを取りまとめて地元農家らに注文し、夏野菜の苗や腐葉土などを毎年提供する。9日には支所・支店の職員が各校を訪問して野菜苗を配付。上小学校を訪れた上支所の小島孝支所長は「しっかりお世話をして、大切に育ててください」などと児童に声を掛けながら、野菜苗を手渡した。

JAは学校の要望に応じて、地域の農家と連携して栽培を指導する。さらに、多面的な農業理解につなげるため、収穫した野菜を販売する場も用意。希望校は、じばさんずで販売体験ができる。

児童に野菜苗を手渡すJA職員

源流をハイキング

地域への理解深める　西支所運営委　5キロを散策

西支所運営委員会は11日、「四十八瀬川の源流を訪ねるハイキング」を開いた。委員と参加者ら36人が、同支所管内を流れる四十八瀬川沿いを歩き、健康増進を図るとともに地域への理解を深めた。

参加者は、県立秦野戸川公園を出発して「黒龍の滝」などの名所を通り、三廻部の「ミズヒ沢」までハイキング。案内人を務める堀山下の大木伸男さんから、地域の歴史や地名の由来などについて説明を受けながら、約5キロを散策した。

源流沿いをハイキングした参加者ら

カモシカ発見

ハイキングの帰路、国の特別天然記念物に指定されているニホンカモシカが姿を見せた。市内でもなかなか姿を見ることができない希少な動物。参加者の小平和男さんが撮影に成功した。

崖の上に現れたニホンカモシカ

発見 頑張り屋さん　No.432

地域に地場産の味を

千村の―山城（やましろ）　弘揮（ひろき）さん（54）

千村で和食料理店「嵯峨野（さがの）」を営む山城弘揮さん。佐賀県に生まれ、子どもの頃から料理が好きで、18歳で上京。東京都内の洋食店と湯河原町の旅館で8年間修業を積んだ。当時、同じ旅館に勤務していた妻と知り合い、意気投合。その後、2人で協力しながら準備を進め、26歳で同店をオープンさせた。

――食材の仕入れ先は？

地元の農家や魚屋などから仕入れており、できるだけ地場産のものを使うようにしています。

――おすすめのメニューは？

今の時期はアジやアオリイカなどの地魚盛りがおすすめです。野菜の天ぷらなども人気のメニューです。

――こだわり・心掛けていることは？

地場産のものは新鮮で、料理に入れるとお客さまの反応も良いです。そのため、できたての料理を提供するようにしています。まれにメニューにないものを頼まれることがあるので、できるだけお客さまのニーズに応えられるよう心掛けています。

――やりがいは？

地元のお客さまが多く、「おいしかった」「また友達を連れて来るよ」と言ってもらえることが、やりがいになっています。

――今後の目標は？

7歳の孫がいるので、私の仕事に興味を持ってもらえるように、頑張っていきたいと思います。

JAのリーダーを養成　協同組合講座開講

JAはだのは7日、本所で協同組合講座開講式を開いた。今年度は、受講者111人が各コースに分かれて協同組合などについて学習する。

同講座は①准組合員が、協同組合やJA事業などの基礎的な内容を学ぶ「組合員基礎講座」②組合員が、農業や生活など幅広いテーマで学ぶ「組合員講座」③組合員講座修了者が、2年にわたり協同組合や農業についてさらに深く学ぶ「専修講座」――の3コースがある。

山口政雄組合長は「講座を通じて協同の意義や大切さを学び、協同組合運動のリーダーとして活躍してほしい」と期待を寄せた。

あいさつする山口組合長

先進的活動を学習　女性部

滋賀県のJAを訪問

女性部は8、9の両日、滋賀県のJAグリーン近江を訪れた。本部役員15人が、同JA女性部の先進的な活動を学ぶとともに、交流を深めた。

同JA本店では、女性部が組織改革を積極的に行っていることなどの説明を受けた。その他、農産物直売所「きてみ～な」などを視察した。

JAグリーン近江女性部と交流

かんきつ着花量を調査　品質向上へ情報共有

柑橘部

果樹部会柑橘（かんきつ）部は8日、部員の果樹園を巡回し、柑橘の着花量などを調査した。部員の他、県農業技術センターとJA営農課の職員合わせて12人が、13園を回った。

調査項目は、着花量や萌芽（ほうが）状況などの4点。「大津4号」や「青島温州」は1年ごとに収穫量が増減する品種のため、木ごとの着花量にばらつきがあることを確認した。部員らは調査結果を基に、着花量と萌芽が少ない園では追肥を徹底することなど、今後の栽培管理について情報を共有した。

着花量を調べる部員ら

2生産組合が水路を整備　東地区

東地区の八幡・前原の両生産組合は5日、東田原の水田の用水路を整備した。組合員らが管理する田んぼに水を行き渡らせるため、約40人が水路の清掃などに励んだ。

同地区を流れる金目川からの取水口や水路の脇に生い茂った雑草を刈り取った他、スコップなどで水路内にたまった土をかき出した。

前原生産組合の柏木利也組合長は「良質な米を生産するため、水を利用する組合員みんなで毎年協力している。今後も地域一体となって水田の環境を守っていく」と意気込む。

水路の流れを確認する組合員

捕獲おり76基巡回

はだの都市農業支援センター

はだの都市農業支援センターは9～23日のうちの5日間、市内に設置している捕獲おりの現地検討会を開いた。県や地元猟友会らとともに76基のおりを巡回し、設置状況を確認した。

検討会は、生産組合などを対象に鹿やイノシシが繁殖シーズンを迎える春と秋に毎年開いている。

同センター職員らは、おりの適切な設置場所やえさの選定など、今後の管理の徹底も呼び掛けた。

おりの管理者の一人、菩提の高梨福太郎さんは「1人でも多くの組合員に参加してもらうことで、情報を共有し、被害の軽減につなげていきたい」と話した。

おりの設置状況を確認する農家ら

111人が参加　ターゲットバードゴルフ大会

JAはだのは14日、なでしこ運動広場で「第9回JAはだの組合員ターゲットバードゴルフ大会」を開いた。組合員ら111人が参加した。

参加者は、バドミントンの羽根を付けた専用のボールを使って競技を進め、18ホールを回った。その結果、男性は西大竹の髙橋隆治さん、女性は平沢の豊田五月子さんが優勝した。

ボールを打ち出す参加者

長寿者に記念品贈呈　いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

100歳

▽北地区＝三嶽美代子（羽根）

88歳（米寿）

▽本町地区＝古郡義長（本町）目黒喬（本町）
▽南地区＝高橋春子（西大竹）加藤郁三（新町）
▽西地区＝石井和夫（渋沢）

77歳（喜寿）

▽大根地区＝関野武男（鶴巻）
▽本町地区＝遠藤宏（曽屋）石塚三郎（曽屋）
▽東地区＝小磯栄子（西田原）
▽南地区＝山田忠（尾尻）髙橋庸郎（尾尻）

※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。

総会　ＪＡのさらなる発展に活発な意見

第56回通常総会では、上程した議案について組合員から質問や意見・要望が挙がりました。会場に集まった組合員を代表して発言した2人の質問や意見、ならびにＪＡはだのの回答（要旨）を紹介します。

パル生協との連携とは

女性部　熊澤　淳子（くまざわ　じゅんこ）氏

熊澤氏

女性部では2017年度に「ぴーなマン体操」と「やえのちゃん音頭」を新たに制作しました。今年度はこれらの普及を目的に普及サポーターを設置し、地域で活動していきたいと思っています。会場の皆さんも、仕事の合間などに「ぴーなマン体操」や「やえのちゃん音頭」を覚えていただき、地域との交流を深めるために広めていただきたいと思います。

続々と入場する組合員

全国で高齢化が進んでおり、ＪＡはだの女性部も例外ではありません。今年度も魅力ある楽しい活動を通して、部員増加に努めていきたいと考えています。

さて、第2号議案、総会資料82ページの購買事業の中で、生活物資関連事業について記載があります。ＪＡはだのは生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ（以下パルシステム）と事業連携を開始しました。共同購入の在り方が変わり、どのような効果を見込んでいるのでしょうか。また、現在どのくらいの利用がありますか。まだまだ知らない方が多いと思いますが、どのように普及運動を進めていくのでしょうか。今後も女性部員をはじめ、買い物に苦労している組合員への説明会などを開催して広く周知していただきたいと思います。

また、今後パルシステムとどのように連携していくのか、考えをお聞かせください。

小島常務　今回パルシステムと事業連携を開始したのは、座談会などで、女性部員や組合員から「買い物困難者」対策として、移動購買車「のんちゃん号」の復活や、生活用品の宅配を望む意見・要望が寄せられたためです。組合員のニーズに応えようと検討していたところ、2017年3月に県内のＪＡ、漁協、森林組合、生協など83の組織で「神奈川県協同組合連絡協議会」が設立されました。

これは協同組合間で連携し、地域住民のくらし

（<3面に続く）

第56回通常総会あいさつ（要旨）

基本理念の実現を目指して

秦野市農業協同組合　代表理事組合長　山口　政雄（やまぐち　まさお）

2018年度の日本経済は、企業の設備投資が増加傾向にあるなど、生産活動は緩やかに持ち直しているものの、海外経済の減速を背景に輸出は弱まっており、回復力の強さに欠ける1年でありました。

農業を取り巻く環境では、「TPP11」や「日EU・EPA」など大型の自由貿易協定が相次いで発効し、わが国の農業に多大な影響を及ぼすことが懸念されています。また、他方では、世界の食料生産に大きな役割を果たしている家族農業について、国連では、2019年から2028年の10年間を「家族農業の10年」と位置付けるなど、国際的にも家族農業の役割が再評価された年でもありました。

ＪＡはだのでは、このような情勢の中、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化に向けた自己改革に取り組むとともに、さらなる農業振興と協同組合運動の躍進に向けて「第四次中期経営計画」の最終年度の実践に取り組んでまいりました。

組織運営では、新規就農者や農業後継者などの組合員加入を促進し、組織基盤の強化に努めるとともに、支所運営委員会を中心に地域に根差した協同活動を展開し、組合員の参加と結集を促しました。

販売事業では「はだのじばさんず」を拠点とした買い取り販売の拡大に努め、販路拡大と生産者所得の増大につなげました。

経済事業では、購買品の仕入れ先の選定や、生産資材の銘柄集約などにより仕入れ機能を強化するとともに、営農指導と連携した新商品のＰＲや提案活動により、農業者の生産コスト削減に努めました。

経営管理では「第五次中期経営計画」を策定し、特に重点的に取り組む事項について「重点実践計画」として設定しました。また、新執行体制により業務執行における専門性の向上と意思決定の迅速化を図り、健全な経営管理と内部管理体制の強化に努めました。

今後も、地域農業と地域社会の活性化に貢献し、組合員入れ先や地域から「必要とされるＪＡはだの」を目指し、組合員の負託に応える運営に努めてまいります。さらに、全ての組合員と役職員が一丸となって自己改革を実践し、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化に取り組んでまいります。

これらを通じて、基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現を目指し、協同組合運動を展開してまいります。

最後に、組合員の皆さまのＪＡはだのへの一層の結集とご協力をお願い申し上げ、総会開催に当たってのごあいさつとさせていただきます。

パルシステムと包括協定

ＪＡはだのは3月13日から、生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープと協同組合間協同による事業連携をスタートした。

包括協定における連携項目は以下の8項目。

①食と農に関する学習活動に関すること
②組合員、役職員の交流による協同組合運動の実践および人材育成に関すること
③ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）全17項目の目標達成に向けた取り組みに関すること
④組合員への生活関連物資等の供給に係る事業の相互利用促進に関すること
⑤秦野市産の農畜産物および農畜産加工品の流通促進に関すること
⑥相互の施設やインフラを活用した事業展開に関すること
⑦災害時における連携、協力に関すること
⑧その他目的の達成に必要な事項に関すること

◇

また、ＪＡはだのでは現在、パルシステムの生活物資宅配サービスの利用者を募集中。8月30日（金）までのキャンペーン期間中の申込者に「ＪＡはだのくみあい利用券」1000点分を進呈する。

お申し込み、お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

新元号祝うや街にひと溢れ　柳川みち子（栄　町）
文脈のどこを目指せる若葉風　佐藤英美子（南矢名）
泣き羅漢笑い羅漢に風薫る　森高　由子（渋　沢）
新緑やうしろ険しき山ばかり　高島美和子（名古木）
雨あがる令和端午の日なりけり　吉田　清美（渋　沢）
大若葉人は地球で死にたがる　菊池としえ（菩　提）
吟行や五月の風に誘われ　志賀　明子（千　村）
新緑に令和が光る波静か　芦川　松江（八　沢）
作務衣着て夏の戸口を踏み出しぬ　石原　松枝（渋　沢）
花と散り御霊母国を恋しがる　柴崎　和子（渋　沢）
五月一日令和初日の領収書　高橋　順子（大秦町）選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

長寿会奉仕作業の三百人
除草する背に花吹雪舞う　伊東　久（渋　沢）

評　事実を率直に詠んでいるが、情景が鮮明である。三百人と具体的な数を示したのも効果が出ている。

旅行より戻りて留守電の一つもなし
リタイアの身を寂しみている　八木　実（鶴巻北）
美智子妃と鎮魂行脚の大御心
令和となりたるのちもつづくらむ　細田　富士（千　村）
それぞれに足腰の痛みかこちつつ
昔思いぬ麦刈のころ　今井　かめ（羽　根）
珍しき七色の橋かかりいるを
車を止めて人ら見あぐる　石田こずゑ（水神町）
今日よりは令和となるを祝ぎまおす
蓬香に立つもちひ供えて　選者

今月の理事会

5月16日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2018年度県常例検査結果の通知事項に対する改善状況報告書について
▽2018年度決算監査「改善を要する事項」に対する顛末報告について
▽2018年度出資配当金・事業分量配当金の支払いについて
▽2018年度業務報告書および連結業務報告書について
▽「自己資本比率算出要領」の一部改正について
▽2019年度春の座談会意見・要望の対応について

職員人事

かっこ内は旧部署。
◎4月30日付退職
君嶋大子（西支所）

受賞おめでとう！

日頃の成果を発揮

（一社）神奈川県園芸協会は14日、平塚市の県農業技術センターで花き関係褒章授与式を開き、平成30年度園芸功労者を表彰した。受賞者は次の通り。

◎小野孝允（千村）※花き部会カーネーション部の役員を長く務め、6年間、同部の部長として活躍、さらに神奈川県花き園芸組合連合会の理事を6年務めるなど、県内の花きの生産振興に対する功績が高く評価された。

家の光　今月の新刊

プロが教える　超図解
野菜の生育診断
＆回復ワザ
『やさい畑』
菜園クラブ　編

不調の原因と対処法がイラストと写真でひと目で分かる。

病害虫だけでなく過繁茂や生育障害による不調など、プロが総合的に診断し状況を詳しく解説する他、回復方法も丁寧に紹介。味や収量アップのこつが満載。

定価1620円（税込み）

少ない調味料とポリ袋でできる
もみもみ
焼くだけレシピ
堀知佐子　著

素材をポリ袋に入れて、もんで、フライパンで野菜と一緒に焼くだけレシピ。

秦野の農家ご飯

ジャガイモのグラタン

東支部　湯山（ゆやま）　マサ子（まさこ）

■材料（2人分）■
ジャガイモ中3個、タマネギ1／2個、ベーコン3枚、塩少々、コショウ少々、缶詰ミートソース1缶、ピザ用チーズ適量

＜作り方＞
①ジャガイモの皮をむいて、軟らかくなるまでゆでる（蒸してもよい）。
②①をつぶす。
③タマネギをくし形切りに、ベーコンを千切りにして、油を熱したフライパンでしんなりするまで炒める。
④②と③を混ぜ、塩コショウで味を付ける。
⑤耐熱皿に移して、缶詰ミートソースを掛ける。
⑥ピザ用チーズを上にのせて、オーブントースターで10分焼く。

＜ひとことアドバイス＞
肉の代わりに大豆を使った缶詰ミートソースで作ると、ヘルシーになります。きのこ類を入れてもおいしいです。

いきいき女性部活動

「麗美の会」

代表　江原（えはら）　スエ子（すえこ）さん

麗美の会は、発足してから今年で18年目を迎えます。演歌、歌謡曲、ポップスなどの踊りを気軽に楽しんでいます。また、新しい分野を開拓して活動の幅を広げています。衣装の着物で「和の世界」の広がりを感じながら、まずは楽しむことを第一に活動しています。健康増進を図るとともに心をリフレッシュしています。

今年度もまた、女性部の活動、各種チャリティー舞踊祭、地域の文化祭などに参加し、仲間たちと共に目標を持って活動していきたいと思います。

6月の女性部行事予定表

3日（月）	10：00～	球技大会代表者会
	13：30～	本部役員会
6日（木）	10：00～	女性部サポーター「体操・音頭普及委員会」会議
7日（金）	9：00～	支部役員会（大根）
〃	11：00～	大根支部「エークック鍋料理講習会」
〃	13：00～	支部役員会（上）
〃	13：30～	大根支部「ゴキブリ団子作り」
〃	13：30～	支部役員会（東・北）
〃	15：00～	上支部「ゴキブリ団子作り」
10日（月）	13：30～	支部役員会（本町・南・西）
11日（火）	13：00～	いきいきレディース交流会（12日まで）
13日（木）	10：00～	ままメートクラブ
14日（金）	14：00～	乳がん子宮がん検診（大根・南）
17日（月）	9：30～	女性部サポーター「料理運営委員会」会議
〃	11：00～	大根支部「プチパーティー」
〃	19：00～	ボルケットボール審判講習会
18日（火）	14：00～	5ＪＡボルケットボール審判講習会
19日（水）	9：30～	北・上支部「酢の料理教室」
〃	13：30～	西支部「酢の料理教室」
20日（木）	9：30～	本町・東支部「酢の料理教室」
〃	9：30～	ふるさと料理教室（うきうき体操クラブ）
〃	13：30～	南支部「酢の料理教室」
21日（金）	9：30～	大根支部「酢の料理教室」
24日（月）	14：00～	乳がん子宮がん検診（本町・東）
28日（金）	9：30～	西支所「お茶飲み交流会」
〃	14：00～	乳がん子宮がん検診（北・西・上）

税務相談日	6月10日（月）午前9時30分～
法務相談日	6月20日（木）午後1時30分～
場所	本町支所

予約制ですので、事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。
受け付け・ご予約は厥協同コンサルトはだの　☎81－2329

結婚相談日
6月10日（月）
時間　午前9時～正午
場所　本所農業団地センター1階
お問い合わせ
組織教育課☎81－7714

冷蔵庫で約5日間保存できるので、忙しい人に特にお薦め。

定価1404円（税込み）

ローン・年金相談会

●住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。
●これから年金を受け取る方の複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

ご来場の方に記念品を進呈

ローン　6月1日（土）　6月15日（土）　本町支所

年金　6月6日（木）　秦野駅前支店
6月14日（金）　南支所
6月16日（日）　本町支所

※時間は午前9時～午後4時まで。どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

それぞれ事前予約をされると便利です。
◆各種ローンを相談される方は融資課に
◆年金受給手続きを相談される方は信用課に

■融資課　☎81－7713　当日は0120-954-093
■信用課　☎81－7716　当日は0120-954-092

（2面からの続き）

や地域の活性化に貢献していくためのものです。この協議会で、各組織の活動状況などの情報を交換する中で、パルシステムの取り組みに注目しました。昨年3月から事業連携に向けて話し合いを進めてきました。この生協と連携した理由は①店舗を持たない宅配専門の生協である②個人宅への配送の他、グループ単位の配送もできるので、女性部の生活班を継続できる③女性部だけではなく全ての組合員に利用を呼び掛けることができる④週1回の配達や食の安全・安心を重視している⑤食や農をテーマにさまざまな活動を行っている―ことなどが挙げられます。

これらのことから、今年3月13日に「事業を通じた地域振興・地域貢献に関する包括協定」を締結しました。4月1日からは女性部の共同購入に替わりパルシステムの商品供給事業との連携を開始しました。現在、女性部を中心に、普及運動に取り組んでいますが、全ての組合員にもご利用いただけます。加入者は増加しており、5月17日現在で、218件の申し込みがありました。4月に利用していただいた方からは「商品の種類が豊富で品質も良い」などと高評価を受けています。まだまだ説明や周知不足な部分もありますので、丁寧に対応をしていきたいと思います。会場の皆さまも、ぜひご利用いただきたいと思います。各支所・支店、経済課にご相談ください。

農産物の販売や宅配事業などを行っている組織は、全国でも増えています。今回の提携では食や農の取り組みを中心とした協同組合間連携で、協業を目指す包括協定としました。秦野産の農産物や農産加工品の供給のほか、パルシステム組合員のじばさんず利用促進など、八つの項目の実現に向けて提携しています。現在、代表者による定期的な会議でその内容について協議しています。具体的には、パルシステム組合員用の農園開設、地場産農産物を使った料理教室の開催、パルシステム組合員の「はだの農業満喫ＣＬＵＢ」への加入・ＪＡ組合員への加入、イベントでの交流などを考えています。消費者の立場で「農業」と関わっていただくよう進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

協同組合運動に尽力した組合員に感謝状を贈呈

出席者全員でＪＡ綱領を唱和

中学校の完全給食に対する方策は

青年部　髙橋（たかはし）　浩一（こういち）氏

熊澤氏　ありがとうございます。パルシステムへの加入が218件とお聞きしましたが、女性部員は1000人近くいますので、まだまだ少ないようです。私も4月からパルシステムの利用者になりました。1人でも多くの方が利用するように協力していきたいと思います。

髙橋氏　青年部の髙橋とは、はだのではどういった方策を計画しているのか、具体策があれば説明をお願いします。

山口組合長　日頃から、青年部の皆さんには農業振興ならびにＪＡの活動に積極的に参画していただき、ありがとうございます。ご質問の学校給食への取り組みについて、ＪＡでは現在、市内小学校の給食用物資をじばさんずから供給しています。供給方法については、小学校ごとに注文を受け、秦野産農産物に限定して供給する「特定品目」の納入と、一般の青果店と同様に、毎月の入札に参加し、落札した場合には、落札月に使用する全ての農産物を供給する入札方式の2種類があります。入札方式では、その月の給食献立に使用する全ての農産物を供給するという必要性から、市場などからの仕入れ農産物を中心とし、可能な限り季節に応じた秦野産農産物の供給を図っています。

一方、特定品目については、事前に学校給食会との打ち合わせで、季節・時期ごとに供給可能な秦野産農産物を明示します。栄養士の先生が献立との兼ね合いの中で特定品目として学校ごとに発注を受け、秦野産農産物を供給しています。2018年度は、22品目、8トンを超える秦野産農産物を供給しました。

さて、2021年度から始まる中学校給食への対応ですが、現段階では、センター調理方式で行うと聞いております。今後の方向性としては、ＪＡとして、積極的に中学校給食へ秦野産農産物を供給していく考えです。一方で、センター方式ということは、市内全ての中学生の給食を一度に調理することになるため、入札制度・特定品目ともに使用する農産物もかなりの量になると想定されます。これに対応するため、事前に中学校給食の運営方式や供給方法などに関する情報の収集に努めるまます。また、従来からじばさんずに出荷している生産者に加え、新たに出荷していただける生産者を確保し、店舗利用者をはじめ、学校給食や買い取り販売先からの秦野産農産物の需要に応えられる生産体制の構築が必要になります。青年部員をはじめとした農家の所得向上のためにも、じばさんずでは、引き続き店舗の充実を図るとともに買い取り販売の拡大に力を注いでいきます。さらに、関係機関・各部署と連携し、中学校給食の開始に向けて準備を進め、安定的に供給できる体制づくりを検討していきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

髙橋氏　ありがとうございます。今後も所得増大の取り組みとして、生産資材価格の低減策などと併せてＪＡの積極的な支援にご期待申し上げ、私からの質問を終わります。また、本日の総会には、市議会議員の皆さまも臨席されています。議員の皆さまにおかれましては議会の立場で、農業振興ならびに学校給食への秦野産農産物の供給に対し、ぜひともお力添えをお願い申し上げます。ありがとうございました。

最後は万歳三唱で締めくくった

2021年12月から始まる中学校給食について

秦野市は、昭和36年から市内全ての小学校で主食、副食、牛乳の「完全給食」を実施している。一方、中学校では、家庭からの弁当を基本とする「牛乳給食」を行っているが、2021年12月からは完全給食を開始するため、「秦野市立中学校給食基本計画」を策定した。

小学校給食は、それぞれの小学校の調理室で調理する「自校方式」だが、中学校給食は市内1カ所の共同調理場で調理して各校に配送する「センター方式」になる。また、センター方式の中学校給食も自校方式の小学校給食と同様に、市の栄養士が献立を作成して専門調理員が調理する。

秦野市立中学校給食基本計画の骨子

1．給食形態は、食育を推進し、生徒の心身の健全な成長につなげるため、すべての生徒に同じメニューを提供する「全員給食」とします。

2．配膳方式は、学校給食を生きた教材として活用する上で高い効果が期待できる「食器・食缶方式」とします。

3．提供方式は、高い水準の衛生管理やアレルギー対応が可能な「センター方式（共同調理場方式）」とします。給食センターの建設用地は、曽屋の庁舎用地（旧水道局庁舎跡地）とします。

（2019年5月1日発行「広報はだの」より）

◇

中学校給食の導入により、多くの地場産農産物の消費が見込まれることから、ＪＡはだのでは、じばさんずを通じて秦野産農産物を安定的に供給できるように、情報を収集し、検討を進めていきます。

告知板

第33回農薬保管管理コンクール

◎実施日　6月19日（水）

◎内容　応募者宅を巡回し、保管状況を審査します。

◎審査員　県農業技術センター、市農業振興課、ＪＡ営農課

◎応募締切日　6月4日（火）までに各支所・支店に申し込んでください。

入賞者には農業まつりで記念品を贈り、表彰します。また、全員に参加賞を贈ります。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

生産組合土壌診断の実施

◎土壌（分析サンプル）の回収　6月26日（水）～27日（木）

◎対象作物　秋野菜、その他

◎分析・診断項目　水素イオン指数（ＰＨ）、電気伝導度（ＥＣ）、硝酸態窒素、リン酸、カリ、石灰、苦土

◎採土袋　各支所・支店、営農課で用意しています。袋が足りない場合は封筒での代用も可能です。

◎提出場所　各支所・支店または営農課

※分析用の土は日陰で乾燥させ、ふるいに通してから袋に入れてください。量は、ふるいに通した土は袋半分、通していない土は袋いっぱい入れてください。採土した畑や水田の地番の他、氏名、自宅住所も記載してください。

◎結果検討会　8月中旬に処方箋を付けて郵送。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

生産緑地の追加指定について

令和元年度の生産緑地の追加指定の申し出と要望を受け付けます。追加指定できる農地には条件があるため、希望する方は事前にご相談ください。

◎受付期間　6月3日（月）～17日（月）午前8時30分～午後3時15分（土・日除く）

◎場所　秦野市役所西庁舎2階　まちづくり計画課

お問い合わせは市まちづくり計画課まで。☎82－9643

健康福祉大会を開催

◎日時　7月4日（木）午後1時30分～

◎場所　本所3階・虹の間

◎内容　①健康福祉活動報告②女性部活動発表③講演「笑いで健康!!」（講師＝落語家・春風亭一左氏）

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

さわやか農園利用者を募集

ＪＡはだのでは「さわやか農園」の利用者を募集しています。

◇北地区

◎場所・面積

①菩提504（306平方㍍・410平方㍍）②菩提349（148平方㍍・1区画）③横野1－11（210平方㍍・1区画）④横野88－1（100平方㍍・1区画）（小規模などへの区画変更はできません）

◎利用料　年間6000円（100平方㍍当たり）

区画が埋まり次第終了となります。利用を希望する方は、北支所の内田まで。☎75－1629

西支所駐車場の利用者募集

1台当たりの1カ月の料金は6480円（組合員）、7128円（組合員外）です。お問い合わせは、西支所まで。☎88－0004

上支所の灯油計量機を工事

上支所の灯油計量機の交換工事で、6月12日（水）午前8時30分～午後1時は灯油の給油ができなくなります。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、ガソリンと軽油は通常通り給油できます。

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

本町支所貸金庫のご案内

本町支所では貸金庫の利用者を募集しています。

◎利用時間　午前8時30分～午後9時（平日・休日とも）

◎年間利用料　1944円（税込み・組合員価格）

お問い合わせは本町支所まで。☎81－0019

パート職員募集

じばさんずと特産センター渋沢店のパート職員を募集しています。

◎業務内容　レジおよび品出し

◎時給　じばさんずは1015円（学生は1005円）　特産センター渋沢店は995円（学生は985円）

◎時間　じばさんずは午前8時～午後7時、特産センター渋沢店は午前8時30分～午後8時　※両店とも時間内でシフト制

◎待遇　社会保険完備・交通費規定支給など

お問い合わせは、じばさんずまで。☎81－7707

落花生振興へ市が補助金

秦野市では、落花生の生産振興を目的に「落花生生産支援事業補助金」を設けています。助成金額は1㌔当たり4000円以内です。市内在住かつ市内の圃場（ほじょう）で落花生を栽培している農業者は、7月11日（木）までに、はだの都市農業支援センターに申し込みください。

じばさんずNEWS

【6月のイベント】

☆「ユースマルシェ」1日（土）
青年部員がタマネギやトマトなどを対面販売します。

☆「カレー祭り」1日（土）、2日（日）
当店自慢のカレー粉と秦野産のお薦め野菜を紹介します。

☆「乾物商品集合」8日（土）、9日（日）
（株）旭洋がお薦めの乾物を販売します。

☆「梅フェア」8日（土）、9日（日）
梅酒用の梅（白加賀）や梅干し用の梅（南高）などを販売します。レシピも用意しています。

☆「国産加工豚の日」15日（土）
（株）フリーデンが国産豚を使用した加工品を試食販売します。

☆「父の日フェア」15日（土）、16日（日）
2000円以上のお買い上げでじゃんけんにチャレンジ。牛乳をプレゼントします。（なくなり次第終了）

☆「足柄茶詰め放題」20日（木）
とってもお得な、おいしいお茶の詰め放題です。

☆「洋ラン即売会」22日（土）、23日（日）
農家が洋ランを対面販売します。普段は店頭に並ばない品種も多数用意します。

☆「とうもろこしフェア」30日（日）
秦野産のトウモロコシを販売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜日
店頭価格から10％引き。「みくるべたまご」は除きます。

☆「試食の日」毎週火曜日
旬の野菜を使ったレシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「肉の日」毎週木曜日と29日
店頭価格から5％引き。

◎6月11日（火）は定休日です。

※準備の都合上、イベントが変更になることがあります。ご了承ください。

ＪＡグリーンはだの頑張る農家を応援

水稲用資材でキャンペーン

JAグリーンはだのは6月15日（土）～22日（土）、水稲用農薬や散布時に使用するマスクなどの割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご購入ください。

お問い合わせはＪＡグリーンはだのまで。☎81－7719

営農技術　ヒント・ポイント

協力　農業技術センター　0463-58-0333

普及指導部
- 果樹花き課　果樹（伊藤）　花き（藤平）
- 野菜課（吉岡）
- 作物加工課　作物（稲毛）

野菜　タマネギのトウ立ち対策と収穫時の注意

タマネギの収穫が始まっています。今年度はトウ立ちが多いという問い合わせが数件ありましたので、次作に向けて対策を紹介します。

トウ立ち（抽だい）とは、秋まき栽培で、生育が進んで大きく育った株が、施肥の不足や土壌の乾燥などで肥料（窒素）が十分に吸収できないまま10度以下の低温に1カ月以上さらされた場合に、花芽分化を起こし、その後の高温長日条件でトウが伸びて開花してしまうことを言います。トウ立ちすると商品価値がなくなり、出荷できなくなります。

タマネギは苗の大きさと収量に相関関係があり、苗重が大きいほど球重が大きくなる傾向があります。ただし、苗重が大きくなるとトウ立ちする確率も高くなります。十分な収量を確保しつつトウ立ちを抑制するためには、定植苗は葉枚数3枚以上、太さ（葉鞘径＝ようしょうけい）6～8㎜、重さ4～6㌘とします。

また、本畑での生育中、元肥や追肥が不十分で冬季に窒素が切れると、小さな株でもトウ立ちします。秋まき栽培では通常、11月中下旬に定植して、1～3月のそれぞれ中下旬に追肥します。生育の緩慢な厳冬期には追肥しない方もいますが、追肥を行わないと適正な大きさの苗でも窒素不足になり、花芽が形成され、トウ立ちが多くなります。

1～2月の追肥はトウ立ち防止用の重要なものと考え、必ず行いましょう。さらに、1～2月の降水量が少なく本畑の乾燥が続くと、追肥しても肥料を吸収できないことから、トウ立ちしやすくなります。そのような場合は潅水（かんすい）が効果的です。

最後に、収穫時の注意です。収穫の目安は、倒伏後1週間です。貯蔵タマネギは、できるだけ早く茎葉部を乾燥させます。タマネギは倒伏後も球の肥大が続くので、収穫が遅れると裂球しやすくなります。裂球したタマネギは、病原菌の侵入によって腐りやすくなります。

貯蔵中の腐敗は本畑での病害の延長なので、早めの防除で病害の蔓延（まんえん）を防ぐとともに、病害が多かった場合は、貯蔵せず早めに販売すると良いでしょう。

（吉岡）

組合員の声を反映し共に歩むJAへ

市内83会場で春の座談会

JAはだのは4月5日（金）から17日（水）まで、市内83会場で「春の座談会」を開きました。

座談会には、全体で1233人の組合員が出席し、682件の意見・要望が寄せられました。これらの意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のJAはだのの運営に反映させ、さらなる発展のために役立てていきます。

春の座談会（東地区・落合会館）

営農　TACが担い手サポート

意見　TAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）の活動で成果は出ているのか。（大根・本町）

対応　担い手それぞれの経営規模に応じたサポートを充実させ、担い手の満足度の向上や信頼関係の構築を図りました。また、量販店などへの販路拡大に取り組むとともに、融資担当者や農機センター担当者と連携して農家応援プログラムの活用支援や農業資金ニーズの掘り起こしを行いました。

意見　エゴマはどこの地区で生産され、集荷、販売はどのように行っているのか。また、種子はどこで手に入れられるのか。（東・北）

対応　2018年度は大根、本町、東、北、西の5地区で12人の農家が生産しました。集荷した実は、加工業者で油を搾って「はだの生搾りえごま油」として製品化しました。じばさんずで販売しています。種子については、営農課にお問い合わせください。

農家を訪問するTAC㊨

意見　米の集荷実績が2800袋だと聞いたが、重量換算すると84㌧であり、秦野市民の人数で割ると1人当たり500㌘程度にしかならない。地産地消で賄いきれない現実があると思う。（本町）

対応　水稲の耕地面積は約65㌶で、生産量の約25㌫がJAに出荷されています。新品種「はるみ」は食味が優れた品種であり、学校給食やじばさんずなどからの需要が多く、現状の集荷量では供給が追い付かない状況となっています。集荷率を上げてより多くの「はるみ」を販売していきたいので、JAへの出荷をお願いします。

意見＝組合員からの意見・要望　**対応**＝意見・要望に対するJAの対応

はだの都市農業支援センター　鳥獣被害軽減へ連携を強化

意見　農作物の野生鳥獣による被害が後を絶たない。近年では新東名の建設や住宅地の増加による捕獲区域の制限があるが、行政の支援と猟友会による駆除を強化してほしい。（全地区）

対応　野生鳥獣による農作物被害は深刻な問題です。行政が主体となり猟友会と協力して対策を進めていますが、猟友会の会員の減少や高齢化などの問題もあります。JAとしては、生産者が自らできること、地域の生産組合などができること、行政・猟友会に依頼することに区分して対策しています。

鳥獣被害対策は、①個体群管理②侵入防止対策③生息環境管理――が重要な3本柱です。これを徹底できるかが対策の効果を大きく左右しますので、行政や猟友会への支援・駆除強化を要請していきます。

意見　農地や住宅街にもイノシシが出没して、人的な被害も出たという話を聞いたが、どのような対策を考えているのか。（南・西）

対応　市内では、野生動物が原因とみられる事故が報告されています。地域の環境や野生動物の行動などを調べる集落環境調査を行うことで、捕獲を効率的に進め、被害を最小限に食い止めることができます。

花き農家の温室で作業する援農ボランティア

意見　荒廃農地が多くあったが、今はもっと増えているのではないか。荒廃農地の再利用について、どのように取り組んでいるのか。（大根・北）

対応　耕作放棄地面積は、1995年に121㌶でしたが、2015年には149㌶に増えました。市農業委員会では、農地の適正利用の指導などをすることで、耕作放棄地の減少や拡大の抑制に努めています。また、荒廃農地解消ボランティアなどにより整備された農地について、売買・貸借のあっせんを行い、活用されるよう努めています。

意見　援農ボランティアとは何か。稲の刈り取り作業などを手伝ってほしい。（西）

対応　援農ボランティアとは、社会貢献活動として無償で農業を支援する者をいいます。はだの都市農業支援センターでは、農家から必要な人数や作業内容の依頼を受け、援農ボランティアに募集を行います。今回の稲の刈り取り作業などは活動実績がありませんが、援農ボランティアを希望する場合は、はだの都市農業支援センターに相談してください。

JAはだの

発行
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話0463(81)7711㈹
発行責任者 宮永 均

目次

1面…営農・はだの都市農業支援センター関係
2面…店舗販売・経済・改革推進・生産資材・葬祭関係
3面…組織教育・生活福祉・監査関係
4面…総務・企画・信用・融資・共済・㈱協同コンサルトはだの関係

春の座談会出席状況
2019年4月5日（金）～17日（水）

地区名	出席人数（うち女性）	意見要望
大根	162(48)	107
本町	108(43)	88
東	169(43)	91
南	180(50)	114
北	134(50)	88
西	267(90)	134
上	121(46)	54
本所	92(50)	6
合計	1233(420)	682

声掛けで振り込め詐欺を防止

総務　秦野駅前支店を統合

意見　正組合員数が減少している要因と、准組合員数が増加している要因は何か。（大根・南・北・上）

対応　正組合員加入促進運動を行い、農業後継者や新規就農者などの加入促進に取り組んでいますが、相続などによる脱退が増加していることが主な減少要因です。准組合員は、事業利用者に組合員加入を勧めているため増加しています。

意見　秦野駅前支店の閉店について教えてほしい。（大根・本町・東・南・北・西）

対応　今回の店舗統合は、将来的な収支予測や施設の再編整備を進める中で検討していました。南地区には秦野駅前支店と本所信用課、南支所の3店舗があり、近くには店舗機能を充実させた本町支所が昨年新装開店しました。これらを踏まえ、2020年2月21日（金）の営業を最後に、南支所に統合することとしました。貯金・融資・共済など、利用者が行う手続きは原則ありませんが、取引の内容によって、一部手続きが必要となる場合があります。その場合にはJAから連絡させていただきます。詳しくは窓口にお問い合わせください。

秦野駅前支店に設置しているATMは、店舗統合以降も引き続きご利用いただけます。

長年ご愛顧いただきました組合員・利用者の皆さまへの報告が遅くなりましたが、ご理解をいただき、引き続き南支所および近隣店舗をご利用いただきますようお願いします。

意見　今後の支所の建て替え計画はあるのか。（大根・北・西・上）

対応　北支所、西支所の順で建物が古く、北支所は当初建て替えに向けて北支所総合整備研究委員会を立ち上げましたが、金融収益の将来的な縮小が想定される中で、北支所だけでなく隣接する西支所や上支所も含めた総合的な施設整備計画を策定し、検討を進めます。

信用　年金振込増加のためPRを

意見　複数ある貯金口座の届出印を統一したい。手続きはどのようにしたらよいか。（南）

対応　現在お届けいただいている全ての印鑑と本人確認書類をお持ちいただければ、窓口で変更手続きをします。届出印を新たに変更する場合は、変更後の印鑑もお持ちください。

意見　貯金残高の安定のため、年金振込の増加とPRに努めてほしい。（西）

対応　地域に密着した金融機関としての役割を果たすため、年金振込者へのサービス提供を行っています。今後もキャンペーンの実施や各種特典を用意し、増加に努めていきます。

意見　振り込め詐欺の未然防止の対策だとは分かるが、自分のお金さえも自由に引き出せないのは疑問に感じる。（本町）

対応　高齢者の貯金などの払い戻しの際には、小まめな声掛けや神奈川県警察から提供されたアンケートを使用し、資金使途を確認するなど詐欺被害の未然防止に努めています。ご理解とご協力をお願いします。

意見　超低金利が続いているが、JAではどう対処しているのか。（本町）

対応　利ざや確保のため、調達コストを抑制する他、貸出や有価証券運用などの強化に努めていきます。

企画　合併に対する考え方は

意見　当期剰余金が増加している要因は何か。（大根・本町・東・南・西・上）

対応　貸出金の貸し倒れに備えて計上している貸倒引当金の会計処理方法が変更になり、引当金の戻入益が約1億1700万円あったことや、有価証券の運用強化などにより信用収益が増加したことが主な要因です。

意見　県下JAの合併の状況はどうか。また、今後の合併の方向性が検討されていますか。（西）

対応　2019年11月1日には、近隣のJA湘南とJAいせはらが合併する予定です。県中央会では、県内の未合併JAについて、新たな枠組みによる合併の方向性が検討されています。その方向性について具体的な考え方が示された場合には、前向きに検討を進めていきたいと考えています。

融資　貸出金による自主運用を強化

意見　貯金残高からすると貸出金を伸ばす必要があるのではないか。（本町・西）

対応　貸出金による自主運用強化のため、農業資金、3大個人ローン（住宅・マイカー・教育）、事業資金などの取扱拡大に取り組んでいきます。

意見　建物更生共済で掛け捨てのものはないのか。（北）

対応　建物更生共済は掛け捨てではありません。掛け捨てのものでは、地震保障の付いた共栄火災の火災総合保険があります。ご相談いただければ最適なプランをご案内しますので、窓口担当者または渉外担当者にご相談ください。

意見　自動車共済では各種割引があるようだが、自分の契約は割引が適用されているか分からない。（東）

対応　ご不明な点がありましたら窓口担当者または渉外担当者にお尋ねください。継続の案内通知や証書にも適用されている割引の記載がありますので、ご確認いただけます。

意見　自転車の損害賠償責任保険への加入が義務化される流れになっているが、JAで自転車に特化した共済はあるのか。（本町）

対応　自転車損害賠償責任保険などの加入義務の条例が2019年10月から施行されます。近年、自転車事故の高額賠償事例が増加しており、賠償責任保険の必要性が注目されています。自転車に特化した共済として、共栄火災の「自転車補償プラン」があります。また、「自転車補償プラン」よりもさらに幅広い保障の「JA安心倶楽部」もありますので、窓口担当者または渉外担当者にご相談ください。

共済　最適なプランをご提案

意見　資産運用部会で都市計画税の税率を下げる要望を行政にしているが、状況はどうか。（南）

対応　毎年部会のみでなくJAとしても市に要望していますが、納得できる成果は得られていません。今後も引き続き要望していきます。

㈱協同コンサルトはだの　住宅リフォームも取り扱い

意見　㈱協同コンサルトはだのは新築住宅だけでなく、リフォームも行っているのか。外装などのリフォームを頼みたいが、知らない業者よりJAが提携しているところの方が安心できる。（西）

対応　㈱協同コンサルトはだのではリフォームも取り扱っていますので、ご利用ください。ハウスメーカーなど提携業者をご案内します。

店舗販売
じばさんずの新たな販路は

意見　じばさんずの来店者数と売り上げが落ち込んだ要因は何か。近隣のＪＡ直売所や量販店との競合により、減少しているのではないか。（全地区）

対応　2018年3月から設定している定休日（7、8月を除く毎月第2火曜日）による、来店者・売り上げの減少が大きな要因です。また、生産者の高齢化などに加え、天候不順による出荷量の減少が落ち込みに影響していると考えられます。

店舗運営については、外部専門家による支援体制の下、関係部署と連携し、店内陳列棚などの什器（じゅうき）類や内装面の改善に加え、マーケット演出や施設整備などの中長期的な改善に向けて対応を進めています。

意見　挑戦に、じばさんずの新たな販路として「やさいや金次郎」「ファーマーズ御殿場」とあるが、それぞれ具体的に教えてほしい。（南・北・西・上）

対応　次郎」は、㈱流通研究所が運営する小売店（八百屋）で、東急田園都市線の藤が丘駅近く（横浜市）にあります。県内産の農産物を中心に取り扱っていて、じばさんずが供給する秦野産農産物は今年1月から販売を開始しました。店内にじばさんずコーナーを設け、当ＪＡが買い取りした農産物や農産加工品を販売しています。

「ファーマーズ御殿場」はＪＡ御殿場が運営する農産物直売所で、本所敷地内にあった既存のＡコープ店舗を改装し、昨年7月にオープンしました。同ＪＡ管内で生産されていない農産物や生育時期が異なる野菜の他、花きなどをじばさんず出荷者から買い取って供給しています。

ファーマーズ御殿場に並ぶ秦野産の農産物

意見　市内中学校で給食が始まるが、ＪＡとしてどのように対応していくのか。地産地消を推進するため、地元野菜を使用するよう、市へ要望してほしい。（大根・東・南・西）

対応　現在のところ、具体的かつ正式な話はありませんが、学校給食会との会合などで話題に上りました。小学校給食に上りました。小学校給食と同様であれば、入札制度による納入と秦野産農産物に限定した特定品目の納入という形になりますが、これも具体的な計画は明らかになっていません。ＪＡでは地産地消の一環として、中学校の学校給食に秦野産農産物を供給していきたいと考えていますので、動向を注視し準備を進めていきます。

経済
生協宅配システムと事業連携

意見　パルシステムについて教えてほしい。（全地区）

対応　座談会や女性部より、組合員の高齢化が進んで買い物困難者の増加が予想されるなど不安の声が寄せられ、移動購買車導入の要望などがありました。さらに、2017年3月に神奈川県協同組合連絡協議会が発足し、協同組合間の連携を強化する取り組みが確認されました。

そのような中、当ＪＡでは18年3月から、生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープと協同組合間協同による事業連携契約（「組合員への生活関連物資等の供給に係る事業の相互利用促進に関すること」など）を締結しました。生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープが行っている宅配システムが、パルシステムです。パルシステムは、注文した食料品などが毎週決まった日に個人宅へ配達されます。当ＪＡでも、利用申し込みを受け付けており、普及推進期間（3月15日～5月15日）に218件の申し込みがありました。

なお、ご利用には生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープへの組合員加入が必要ですので、経済課または各支所・支店にお問い合わせください。

パルシステムと包括協定を締結

意見　西給油所をセルフスタンドにしないのか。（西）

対応　農業機械に使用する携行缶への給油など、セルフスタンドにはないサービスを提供することができるので、組合員の利便性を考慮し、有人給油所として営業を続けていきます。

改革推進
准組合員利用規制の現状は

意見　農協改革の中で、正組合員が減少傾向だと政府から目を付けられてしまうのではないかと心配だ。何か対策はあるのか。（北）

対応　農業協同組合として、准組合員をはじめ多くの方の「食」や「農」への関心を高める運動などを積極的に展開したいと考えています。

意見　用規制について、現在どのようになっているのか。（東・南）

対応　農協法改正に当たり、政府が規制改革推進会議での意見を基に、准組合員の事業利用を正組合員の2分の1に制限することを検討しましたが、准組合員の規制は見送られました。しかし、改正農協法の施行日から5年経過する日（2021年3月末）までの間、正組合員および准組合員の事業利用の状況と農協改革の実施状況を調査し、検討した上で結論を出すことになっています。現在は調査中ですが、規制改革推進会議では今年4月から農協改革の進捗（しんちょく）確認を開始したと報道されています。委員からは厳しい意見が出され、予断を許さない状況です。

意見　新東名のサービスエリアなどで秦野産農産物を販売する計画はあるのか。（北・西）

対応　サービスエリア内に出店する場合、24時間営業や高額な賃料、農産物を常時確保できるかなどの課題が多いことから、入店予定のテナントと交渉し、農産物直売コーナーの設置をはじめ、飲食店には秦野産の農産物を使ってもらえるよう、秦野市を通じて中日本高速道路㈱へ要望書を提出しました。今後、具体的な交渉を進めていきます。

生産資材
農機レンタルの利用状況は

意見　電気柵の助成や信連による有害獣対策費の助成は、今年度も実施していくのか。（本町・東・上）

対応　電気柵の設置希望が多いことから、今年度も継続して対応します。助成金は年度内に1回で、設置費用の2分の1以内（上限3万円）を限度とし、部品だけでの申請も可能です。また、ＪＡグループ神奈川農家応援プログラムの有害鳥獣対策費用助成事業も、事業費からＪＡの助成金などを控除した金額の2分の1以内（上限15万円）まで助成を受けられます。こちらは対象条件（耕作面積30㌃・販売金額50万以上など）がありますので、申請については各支所・支店、ＪＡグリーンはだの、営農課までご確認ください。

意見　「より安価な給」とは具体的にどのような事を考えているのか。また、ホームセンターと比較して安いのか。（本町・東・南）

対応　農薬は、3社の相見積もりで有利な仕入れ先を選定し、肥料は、銘柄集約により安価な仕入れに努めています。また、全農がながわと連携して定期的にホームセンターなどの価格を調査した上で、全農などと価格交渉を行い、資材・肥料・農薬の一部同品目を対策品として、コスト低減に取り組んでいます。予約注文をご利用いただければ、おおむね安価で提供できます。また、価格だけではなく、品質や安定供給が

意見　農機械利用（レンタル）事業で剪定（せんてい）チッパーの利用状況はどうか。借りるには条件があるのか。また、他の農業機械のレンタルは考えていないのか。（東・南・北・西）

対応　剪定チッパーの昨年度の利用は42件で、講習会受講者は172人でした。メンテナンス料として1日2000円かかります。管内の組合員であればレンタルは可能ですが、講習会の受講と、農業労災または傷害保険に加入していることが条件です。講習会は春・秋の年2回を予定していますので、農機センターにご確認ください。また、剪定チッパー以外のレンタルについては、全国的に農業機械の事故が多く、利用者の安全面、農業機械の使用マナー、使用時期が重なるなどの課題があり、当面は剪定チッパーのみで対応していきます。できることを前提に、業者選定に努めていきます。

葬祭
利用者に配慮した式の進行を

意見　セレモニーホールの男性職員の進行は、声を低めにして雰囲気を出しているのは分かるが、はっきり聞こえる女性の方が良いと思う。式の案内など今の女性職員の声は非常に聞き取りやすい。（東）

対応　セレモニーホールの女性職員の進行は大変好評です。男性職員も声の高低などに配慮し、より聞き取りやすい司会進行に努めます。

組織教育
訪問日で対話活動進める

意見　映画「二宮金次郎」の上映会をＪＡはだの主催でやってほしい。（大根・北）

対応　8月10日開催の文化講演会で上映する予定です。

意見　組合員訪問日は休日でも職員が出勤して活動をしているが、酷ではないか。農家の組合員では曜日は関係ないと思うが、会社勤めの組合員はいつでもよいと思う。また、組合員訪問日を26日、27日と2日間にした理由は何か。2日間にしたために職員の負担が増えたのではないか。（大根・北）

対応　組合員訪問日は組合員との対話活動の場として考えており、休日に実施することで、平日は留守にしている組合員と対話することができます。職員については、振替休日で対応しています。また、組合員訪問日が毎月26日、27日の2日間になり、担当職員1人当たりの平均訪問軒数が以前より少なくなっています。

メリットとしては、今までより対話活動の充実が図れることや窓口混雑の回避、防犯上のリスクへの対応などがあります。

意見　人数が少ない所もあるので、会場を統合してもよいのでは。また、年に2回の座談会はこれからも続けていくのか。（大根・北）

対応　昼間に開催している会場もあり、中には夫婦で出席する方もいます。できるだけ会場の統合はせずに出席人数を増やしたいと考えていますので、昼間の開催や出席しやすい時間帯に変更するなど検討をお願いします。また、組合員の意見・要望を聴く機会をできるだけ多く持ちたいと考えており、今後も年2回開催していきます。

意見　座談会の意見を受けて検討を行っているとのことだが、きちんと声が届いているのか心配である。また、質問に対して回答がどうなったとか、検討中であるなど結果を知りたい。（大根・北・西）

対応　座談会でいただいた意見は、部署別に内容を精査し、役職員間で共有しています。内容を管理職会議や各担当部会で検討した後、理事会で対応を決定します。主な意見・要望と回答は、組合員訪問日で配布する「ＪＡはだの座談会報告号」で報告しています。詳細については、意見・要望・回答の閲覧用ファイルを各支所・支店に置いていますのでご覧ください。個別に回答が必要な場合は、早急な対応を心掛けますが、時間を掛けて検討を要する場合は、途中経過もしっかりお伝えできるよう努めていきます。

意見　生産組合内の活動を活発化させるため、生産組合の総会をするように促しているが、実際に開催されているのか。（東）

対応　ＪＡでは生産組合活動の活性化を目的に、生産組合単位での総会の開催や視察研修会などに助成をしています。その中で総会を開催する生産組合も増えてきています。座談会終了後に行っている生産組合も多くありますので、総会の開催をお願いします。

意見　生産緑地の指定から30年を迎えるので、情報があれば早めに教えてほしい。また、当初指定の30年はいつになるのか知りたい。（大根・本町・南・西）

対応　2017年6月に生産緑地法が改正され、生産緑地を継続する仕組みとして「特定生産緑地制度」が創設されました。特定生産緑地とは、指定から30年が経過しようとしている生産緑地について、10年間の延長ができる制度です。また、10年経過後も繰り返し10年間の延長ができます。特定生産緑地の指定を受け、引き続き農地を管理することにより、税制上の優遇措置が継続されます。なお、現行の生産緑地制度が開始されてから30年となるのが2022年ですが、ご自身がいつ生産緑地に指定したか分からない場合は、秦野市まちづくり計画課へ確認をお願いします。

意見　年お願いしているが、今年から予約制になり、待ち時間が減って便利になった。しかし、昨年まで先着順だったものを予約制にするなら、しっかり周知してほしかった。今後も確定申告をお願いしたい。また、確定申告相談を前面に押し出して、年金振込や新規取引の獲得などの推進チャンスを作ってみてはどうか。（南・西）

対応　受け付け方法などに変更点があった場合は、組合員訪問日などでご案内するようにしていきます。また、確定申告（所得税と消費税の申告相談）は、税理士法第50条「臨時の税務書類の作成等」に関する条項での許可を受け、申告書などの作成を行っています。これは申告時期における税理士不足による措置でしたが、税理士登録数の増加などに伴い、平塚税務署より、近い将来、申告所得税に関しての許可をしないとの方向性が示されており、今後の対応を検討しています。

ターゲットバードゴルフ大会で健康増進

生活福祉
女性部加入で仲間づくりを

意見　「ＪＡ健康寿命100歳プロジェクト」と「高齢者福祉の充実」とは具体的に何をしているのか。（南）

対応　組合員およびその家族の健康寿命を延ばすため、各種健診受診を呼び掛ける他、スポーツ大会や各支所でのお茶飲み交流会（ミニデイサービス）を開催しています。

また、高齢者福祉活動は第4次高齢者福祉計画に基づき、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

意見　人間ドックを受診する際、助成金などはあるのか。どのように申し込んだらいいのか。（大根・北・西）

対応　組合員とその家族に対し、ＪＡ神奈川県厚生連から5500円、全共連から3000円、ＪＡはだのから3050円の助成があります。また、秦野市からＪＡ健康管理センターあの助成として、国保助成はがきをお持ちの方には2万円、75歳以上で助成のはがきをお持ちの方には1万5000円の助成があります。秦野市から助成がない方には、ＪＡより7000円の特別助成があります。受診する方により金額は異なりますが、最大の助成を活用すると、男性は1万6610円、女性は2万3090円で受診できます。

日帰り人間ドックは、2200億円以上のＪＡは2019年9月までに計監査人を設置しなければなりません。会計監査人の監査対象は、財務諸表など（計算書類とその附属明細書）に限定されます。財務諸表など以外の事業報告とその附属明細書については、監事監査に委ねられることになります。

また、監事は自らの監事監査報告において、会計監査人の監査結果を相当と認めるかどうかを表明することとなります。会計監査人が適切に監査を実施しているかについてのみできます。

監査
会計監査人による監査へ移行

意見　8号議案と第9号議案は、監査に関する内容であるが、会計監査人監査と監事監査の違いについて説明してほしい。（大根）

対応　農協法改正により、貯金残高200億円以上のＪＡは2019年9月までに会計監査人を設置しなければなりません。会計監査人の監査対象は、財務諸表などの作成責任は、監事が負うことになるため、選任時およびその後の監査実施期間を通じて、会計監査人と監事は適切なコミュニケーションを図っていくことになります。

このように、農協法改正に伴い、監事を取り巻く環境変化に対応するため、監事監査規程の全部変更について通常総会に上程しました。

通常総会の第表など（計算書類とその附属明細書）に限定されます。財務諸表など以外の事業報告とその附属明細書については、監事監査に委ねられることになります。

また、監事は自らの監事監査報告において、会計監査人の監査結果を相当と認めるかどうかを表明することとなります。会計監査人が適切に監査を実施しているかについてのみできます。

意見　共同購入がなくなり、女性部員は減っているのか。女性部員になるメリットを教えてほしい。（大根・南）

対応　毎年の部員の加入切り替え時には部員数が減少しており、今年も70名ほど減少しています。仲間づくり運動を年2回行い、部員増加に向けて取り組んでいます。

女性部は全体での行事をはじめ、各支部や目的別趣味グループなどが、さまざまな魅力ある活動に取り組んでいます。部員同士の交流を通して仲間ができることや、生活の向上につながる学習活動ができることなどが加入のメリットです。ぜひ、加入をお願いします。

一人一人と対話を進める組合員訪問日